

## 令和4年度 秋田日本語学院「自己点検及び評価」結果

### 1. 教育理念

学生ひとりひとりが目指すキャリア実現に向けた教育を丁寧に行う。加えて、人材育成や人材交流を通じて日本の地域社会の活性化に寄与することを目指す。

### 2. 教育目標

(1) 学生自らの学ぶ意欲を尊重し、学生が希望する大学・専門学校への進学の実現に繋げる。

(2) 進学のための日本語教育に留まることなく、日本の社会生活に役立つバランスの取れた日本語および生活の指導を行う。

(3) 異文化理解、相互理解を図りグローバルに活躍できる人材を育成する。

### 3. 自己評価の段階

A：達成している

B：一部達成していない部分があるが、改善の計画、見込みがある。

C：未達成、または適合していない。

### 4. 自己評価結果並びに今後の活用等について

令和4年度は、入国の規制緩和に伴い、前年度に來られなかった学生および本年度の学生が入国でき当学院での受講を開始することができました。学校での教育活動についてコロナウィルス感染症対策を行いつつ対面授業で実施し、学生の日本語力の向上を図ることができました。

令和5年度は卒業第1期生を迎える年となり教育目標(1)における進学の実現について、本年度の学生への進路指導を実施し、学生の希望する進路へ繋げてまいります。そして、本評価結果の活用について、全教職員への情報共有をはかり、課題について改善計画をたて、よりよい学校運営を行ってまいります。

#### (1) 教育の理念・目標

- |    |     |                               |    |       |
|----|-----|-------------------------------|----|-------|
| 1. | 1-1 | 学校の教育理念・目標や育成する人材像が明確となっているか。 | 評価 | [ A ] |
| 2. | 1-2 | 教育内容が社会のニーズに合致したものとなっているか。    | 評価 | [ A ] |
| 3. | 1-3 | 理念・目標に基づく教育が行われているか。          | 評価 | [ A ] |

#### (2) 学校運営

- |    |     |  |    |       |
|----|-----|--|----|-------|
| 4. | 2-1 | 理念・教育目標に沿った運営方針や事業計画が策定されているか。                                 | 評価 | [ A ] |
| 5. | 2-2 | 理念・教育目標及び運営方針が教職員に明示され共有されているか。                                | 評価 | [ A ] |
| 6. | 2-3 | 組織運営や人事・労務、財務管理に関する規定や意志決定システムが整備されているか。                       | 評価 | [ A ] |
| 7. | 2-4 | 校長、主任教員、教員が「日本語教育機関の運営に関する基準」で定められた要件に適合しているか。また、教員の数が適合しているか。 | 評価 | [ A ] |

8. 2-5 コンプライアンス体制が整備されているか。 評価 [ A ]
9. 2-6 業務の効率化が図られているか。 評価 [ B ]
10. 2-7 職務分掌と責任が明確にされているか。 評価 [ A ]
11. 2-8 入国・在留関係の管理・指導が適切に行われているか。 評価 [ A ]

### (3) 教育活動

12. 3-1 教育理念・目標に沿ったカリキュラムが体系的に編成され、教育目標を達成するための取り組みが適切に行われているか 評価 [ A ]
13. 3-2 学生が到達すべき日本語能力の目標が明示されているか。 評価 [ A ]
14. 3-3 教育内容・方法について教員間で共有されているか。 評価 [ A ]
15. 3-4 成績評価や進級、修了の判定基準が明確で、適切に運用されているか。 評価 [ A ]
16. 3-5 教員の指導力向上のための取り組み、教育課程の改善のための取り組みが行われているか。 評価 [ B ]
17. 3-6 教職員の評価を行っているか。 評価 [ A ]

### (4) 学修成果

18. 4-1 学生の日本語能力の向上が図られているか。 評価 [ A ]
19. 4-2 日本語能力試験、日本留学試験の結果を把握しているか。 評価 [ A ]
20. 4-3 学生の希望進路を適切に把握しているか。 評価 [ A ]
21. 4-4 学生の卒業後の進路を把握しているか。 評価 [ A ]

### (5) 学生支援

22. 5-1 生活指導担当者及び在留事務担当者が特定され、学生に周知されているか。 評価 [ A ]
23. 5-2 健康管理や日本での生活指導などの体制が整っているか。 評価 [ A ]
24. 5-3 健康診断を定期的に行っているか。 評価 [ A ]
25. 5-4 住居やアルバイト等、学生の生活環境への支援・助言が行われているか。 評価 [ A ]
26. 5-5 日本の法令遵守の指導を行っているか。 評価 [ A ]
27. 5-6 学生の出席状況の管理とフォロー体制が確立されているか。 評価 [ A ]

### (6) 進路支援

28. 6-1 学生に対する学習相談や進路に対する支援体制が整備されているか。 評価 [ B ]
29. 6-2 進路指導担当者が特定され、指導体制が有効に機能しているか。 評価 [ A ]
30. 6-3 学生の進路希望を把握し、指導担当者間で情報が共有されているか。 評価 [ A ]
31. 6-4 進学に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にあるか。 評価 [ B ]
32. 6-5 日本語能力試験、日本留学試験等の受験指導の体制は整っているか。 評価 [ A ]

### (7) 教育環境

33. 7-1 教室、その他の施設は「日本語教育機関の運営に関する基準」に適合しているか。 評価 [ A ]
34. 7-2 全ての教室は照度、換気が十分に確保され、必要な遮音性が確保されているか。 評価 [ A ]
35. 7-3 学校の施設、設備が十分かつ安全に整備されているか。 評価 [ A ]
36. 7-4 教材は教育目標及び学生の学習に対して適切であるか。 評価 [ A ]

37. 7-5 図書や学習補助教材、自習室など学習効率を図るための環境整備がなされているか。 評価 [ B ]

(8) 入学者の募集

38. 8-1 学生の受け入れ方針は定まっているか。 評価 [ A ]

39. 8-2 受け入れ方針は、理念・教育目標に沿ったものになっているか。 評価 [ A ]

40. 8-3 募集計画は定められているか。 評価 [ A ]

41. 8-4 入学者の募集は適切に行われているか。その際に学校情報は正確に伝えられているか。 評価 [ A ]

42. 8-5 海外の代理店等の募集活動が適切に行われていることを把握しているか。 評価 [ A ]

43. 8-6 入学選考基準及び方法が明確化され、適正かつ公平な基準で行われているか。 評価 [ A ]

44. 8-7 授業料等は適切か。 評価 [ A ]

45. 8-8 適正な定員設定及び在籍者数になっているか。 評価 [ A ]

(9) 財務

46. 9-1 中長期的に財務基盤は安定しているか。 評価 [ A ]

47. 9-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 評価 [ A ]

48. 9-3 財務について会計監査は適切に行われているか。 評価 [ A ]

(10) 法令遵守

49. 10-1 「出入国管理及び難民認定法令」及び各種関係法令等の遵守と適正な運営を行っているか。 評価 [ A ]

50. 10-2 個人情報保護の対策がとられているか。 評価 [ A ]

51. 10-3 自己点検・自己評価の実施と公開及び問題点の改善に努めているか。 評価 [ A ]

52. 10-4 関係省庁への定期報告を遅滞なく実施しているか。 評価 [ A ]

(11) 安全・危機管理

53. 11-1 対象となる学生全員が国民健康保険に加入しているか。 評価 [ A ]

54. 11-2 防災用品が備蓄されているか。 評価 [ A ]

55. 11-3 災害や緊急時における措置、体制が整備されているか。 評価 [ A ]

56. 11-4 災害時の避難経路、方法、場所が定められているか。 評価 [ A ]

57. 11-5 災害等に対する避難訓練を定期的実施しているか。 評価 [ A ]

58. 11-6 感染症発生時の措置が定められているか。 評価 [ A ]

(12) 地域住民との交流及び地域貢献・社会貢献

59. 12-1 交流会の実施等を実施し、地域住民との交流が図れているか。 評価 [ B ]

60. 12-2 地域住民から寄せられた具体的な意見や要望の把握、対応が適切に行われているか。 評価 [ A ]

61. 12-3 地域の自然や文化財、伝統行事などの教育資源が活用されているか。 評価 [ B ]

62. 12-4 当校の資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。 評価 [ B ]

63. 12-5 学生のボランティア活動の支援を行っているか。 評価 [ B ]